

留学報告書

情報文化学科 2年 川上美香

出発から到着まで

私は8月30日から1月12日までの約4ヶ月間、中国の北京にある北京師範大学へ留学してきました。留学を選んだ理由は中国がどんな国なのか実際行って確かめてみたいというのと、単純に外国で暮らす体験がしてみたいというものでした。

最初は好奇心と興味で楽しみにしていた留学ですが、出発が近づくにつれて不安が増してきました。「見知らぬ土地でしっかりやっていけるだろうか」、「授業理解できるだろうか」などの不安しか抱かないまま成田空港を飛び立ち3時間乗った後、北京空港に到着しました。飛行機から見る北京の飛行場は霧がかかったように霞んでいて、これが噂の大気汚染かと思いました。空港では私達の留学生生活をサポートしてくれる中国人の陳さんが到着を待っていてくれました。陳さんは日本（大阪）で3ヶ月間の留学経験があり日本語が話せます。陳さんの案内でバスに乗り、留学生活を送ることになる北京師範大学を目指します。もう日が暮れていて景色ははっきり見えませんでした。ビルが聳え立ち、多くの車が車線のたくさんある広い道路を行き来しているのは分かりました。

その日一番心配していたのはルームメイトの事です。しかしまだルームメイトは到着していません。少し安心したのを覚えています。日本から送った荷物がまだ届いていなかったのが必要なものは友人との間で貸し借りしたり、近くのスーパーで買い揃えました。慣れていない中国紙幣で買い物をするのはとても緊張しました。日本で普通にしていた事にも言葉が通じないとなると何故かすごく緊張します。初日は長時間の移動で疲れているにも関わらず、これからの留学生活への不安と緊張で中々眠れませんでした。

大学生活

最初にクラス分けのテストがありました。テストは筆記と口述があります。筆記も難しいものですが口述が一番問題でした。口述の形式は中国人の先生に質問された内容に答えるというものです。私は全く聞き取れなくて、更に緊張のあまりに話す内容も文法が滅茶苦茶になってしまいました。日本にいる時にもっとちゃんと勉強しておくべきだったと後悔しました。

中国に着いてから授業が始まるまで1週間は空くので荷物整理以外、特にすることがありません。この期間に北京師範大学で日本語を勉強している中国の人達との交流会がありました。お互いが用意した出し物を披露したり、一緒にミニゲームしたりして盛り上がりました。最後は一对一で会話をしました。お互い言語を勉強している時間は1年と同じはずなのですが明らかにこちらの方が流暢でした。聞き取れない、上手く返せないで申し訳なくなり、これから頑張ろうという気持ちになりました。

授業初日は本当に大変でした。まず4ヶ月一緒に勉強していくクラスメイトと顔合わせしました。クラスには韓国人、アメリカ人、スペイン人、フランス人、インドネシア人など様々な国籍の人達がいました。授業は教科書に沿って先生が簡単な質問を生徒にして生徒が質問に答えていくという形式でした。最初は質問されている箇所を見つけられなくて全く答えられませんでした。他のクラスメイトは積極的で、質問も完璧に答えていました。語学力の差も歴然としていました。この状態が一週間近く続いてとても辛かったのを覚えています。一週間経つと授業にも慣れてきて楽しくなってきました。一ヶ月を過ぎると簡単な質問なら理解できるようになってきて、その変化がとても嬉しかったです。

授業は一日3コマ程度で日本に居た頃と大差ありませんが、北京師範大学では45分ごとに10分の休憩があるので短く感じます。授業は会話、听力、读写、日中文化交流、初級报刊读写に加えて切り紙と水墨画でした。会話はスピーキング、听力はリスニング、读写はリーディング、日中文化交流は歴史の中で中国と日本の文化交流に貢献した人物を調べる授業です。初級报刊读写は新聞記事を読んでいきます。初級报刊读写は難しい表現や知らない単語が多くて大変でしたが先生がとても面白い人で、授業の中で一番好きでした。他の教科の先生も優しくフレンドリーな人ばかりで、言葉の早さに慣れてからはとても楽しかったです。

会話、听力、读写は全て同じ教室でやるので移動がありません。教室は机の列が3列あり、真ん中が3人掛け、左右が2人掛けの席です。私は大体いつも同じ席に座っていたのですが、よくアイリスというアメリカ人と隣になりました。彼女は私が先生の質問を理解できないとそっと答えを教えてくれたり、分からないところは簡単な中国語で説明してくれたりしてすごくお世話になりました。

会話、听力、读写の3つは予習しないとついていけませんでした。それに加えて1週間に1度のペースで各教科の単語テストがあります。毎日帰ると教科書の内容を訳して内容を理解したり、単語を覚えたり、発音を練習したりしました。日本にいる時よりも勉強時間は格段に増えました。大変でしたが、その分充実していたし忙しくてホームシックにもなりませんでした。

休日はよく大学の外へ出掛けました。北京師範大学の中は広く、スーパーやレストラン、食堂が何箇所もありますが、薬局、服屋などは校内にないので外へ買いに行きました。移動には地下鉄やバスを使います。交通カードを使うと普通に乗るよりも安い値段で移動できます。地下鉄、バスは日本とほとんど同じシステムなのですぐに慣れました。バスは運転が日本よりも荒いので長時間の移動が辛いですが地下鉄よりも安いし、乗り場も近かったので頻繁に利用しました。

買い物は西単や前門をよく利用しました。西単はデパートが建ち並んでいて買い物や観光をするととても楽しいです。服や本など買い物をするなら何でも手に入ります。前門は

天安門広場の目の前にある観光地でお土産の品揃えが良く、値段交渉もできる場所です。この二箇所はバスの乗り換え無しで行けるので観光やお土産を買うのにおすすめです。

せっかく中国に来たということで万里の長城、頤和園、故宮などの有名な場所も多く巡りました。世界遺産はどれも広くて最初にはしゃいで写真を撮ったり、珍しくてじっくり見たりしていましたが最終的には疲れて大変でした。けれど綺麗な建造物、風景をたくさん見ることができて満足でした。

出掛けない日は日本にいる時とあまり変わらない生活をしていましたが、会おうと思えば簡単に友達に会えるので暇な時は友達の部屋に遊びに行きました。

一緒に留学に来た友達とは行く前よりも更に仲良くなることができ、とても良かったです。



留学で一番の不安はルームメイトでした。ルームメイトに会ったのは中国に来た次の日で、英語で話しかけられました。英語を全く聞き取ることができなくてルームメイトも困った様子でした。ルームメイトはタジキスタン人で漢字も不得意なようで中国語もあまり覚えていなかったので部屋での会話は英語でした。

相手は私が英語を不得意なことが分ると簡単な英語で話しかけてくれるようになりました。それに言葉が完全に通じなくても筆談やジェスチャーで意思疎通ができました。

ルームメイトはとても良い人で作った料理をお裾分けしてくれたり、私が風邪を引いた時はすごく心配してレモンティーを作ってくれたりしました。最初は意思疎通が上手くできなくて話すのが億劫だと思っていましたが、一ヶ月を過ぎた頃からお互いに買ってきたお菓子をプレゼントしたり、日用品を共同で使ったりして次第に仲良くなっていきました。相手の話す早さにも慣れてきて暮らす分には全く困らなくなりました。

ルームメイトはムスリムでした。イスラム教は規律が厳しいイメージがあったのですが彼女はかなり自由でクリスマスも友達を呼んで祝っていました。

彼女を見ていてイスラム教のイメージがかなり変わりました。部屋では言葉が通じない変わりにお互いに気を使っていたこともあってトラブルは全く起こりませんでした。

帰国日は私の出発が朝早いにも関わらず起きて見送りに来てくれました。本当にルームメイトがこの人で良かったと思いました。私はかなり消極的な方だったのですが、もっと彼

女と話せばよかったと後悔しています。これが唯一留学での心残りです。

最後に

私は日本から出た経験がなく、この留学が初めて海外に行く機会でした。留学は辛いことと楽しいことが半々にあったという印象です。

一番辛く感じたのは言葉が通じないことでした。第一言語が一切通じない中で生活するのは当初自分が思っていたよりも大変でした。留学の最大の目的は中国語の習得ですがネイティブの話し方は早くて聞き取るのが困難です。言葉が通じないというだけで変に疎外感や怖さを感じてしまったこともありました。更に早く言語を聞き取れるようにならないと、という妙な焦燥感にも駆られました。しかし、留学生活を送っていく中で聞き取れる言葉が増え、聞き取れないという事実にも慣れ何も思わなくなりました。中国での生活には割りと同じに慣れた方だと思えます。生活に慣れると出来ることも段々と多くなり楽しくなっていました。

日本の報道で中国に関連するものは悪い印象を与えるものが多いですが、それは中国も同じで日本に悪い印象を持たせるような反日のドラマなどを放送しているのも事実です。正直来る前は悪い印象の方が強かったのですが、実際に中国の人達と関わってみて印象が変わりました。出会う人は優しく、気さくな方ばかりでした。それは中国人ばかりでなく留学中に会った様々な国の人達も同じで、最初は外国人というだけで近づき難い存在に感じていたことがあります。しかし育った環境や文化に関係なく人間はどこにいても大部分の所は同じだということを学び、今は近い存在に感じます。中国で暮らした4ヶ月はとても濃いもので、学んだことは報告書では書ききれません。出発前は留学を選んだことを後悔しましたが、今は留学を選んでよかったと思っています。

